

モデルカリキュラムの学習項目		対応する授業科目
導入	1-1.社会で起きている変化	情報リテラシー
	1-2.社会で活用されているデータ	情報リテラシー
	1-3.データ・AI の活用領域	情報リテラシー
	1-4.データ・AI 利活用のための技術	情報リテラシー
	1-5.データ・AI 利活用の現場	情報リテラシー
	1-6.データ・AI 利活用の最新動向	情報リテラシー
基礎	2-1.データを読む	情報リテラシー
	2-2.データを説明する	情報リテラシー
	2-3.データを扱う	情報リテラシー
心得	3-1.データ・AI を扱う上での留意事項	情報リテラシー
	3-2.データを守る上での留意事項	情報リテラシー
選択	4-1.統計及び数理基礎	データサイエンス A、データサイエンス B、データサイエンス C、中級データサイエンス、野球観戦に生きるデータ科学、R によるアンケート調査の集計、接続概念による数の見直し、線形性の使用から使える本質・概念へ
	4-2.アルゴリズム基礎	情報リテラシー、データサイエンス B、データサイエンス D
	4-3.データ構造とプログラミング基礎	情報リテラシー、データサイエンス B、データサイエンス D
	4-4.時系列データ解析	データサイエンスB、野球観戦に生きるデータ科学、応用データ処理技術、データクレンジング実践
	4-5.テキスト解析	データクレンジング実践
	4-6.画像解析	応用データ処理技術
	4-7.データハンドリング	データサイエンス A、データサイエンス B、中級データサイエンス、野球観戦に生きるデータ科学、R によるアンケート調査の集計、応用データ処理技術、社会におけるデータサイエンス、機械学習実践入門、データクレンジング入門、データクレンジング実践
	4-8.データ活用実践（教師あり学習）	データサイエンス A、データサイエンス B、データサイエンス D、中級データサイエンス、野球観戦に生きるデータ科学、R によるアンケート調査の集計、応用データ処理技術、データクレンジング実践、機械学習実践入門